



『いどうする屋根』

道においては、屋根も furniture ではないでしょうか。この「屋根の furniture」は、時には厳しく時には優しい「太陽」という存在と心地の良い関係を作りだし外にいる私たちに過ごし方の可能性を広げてくれます。自由に動き回るこの屋根は、設置場所を飛び出し、大岡川沿いの川縁もっと居心地のいい場所にしていきます。使う人、気候、時間、太陽の位置、気分、さまざまな変化に細やかに反応することで、訪れた人にその時だけの楽しさをもたらすのです。

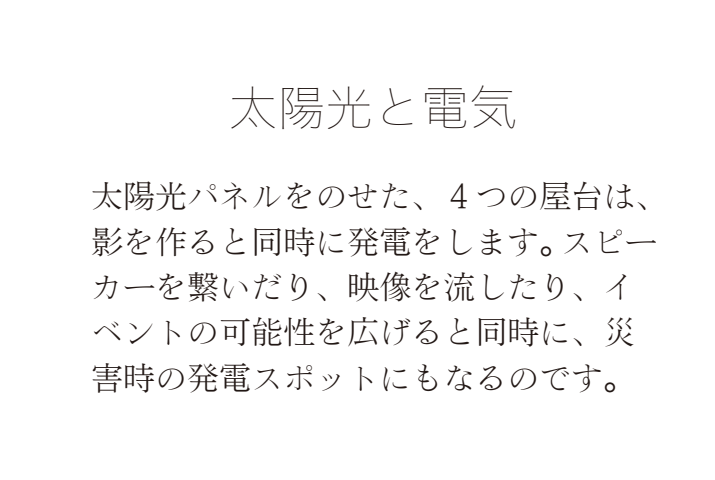
4つの屋根

いどうする屋根は4種類。
太陽光の角度に合わせて、4つの勾配を持っています。互いにつながり合いながら、多様な軒下を作り出し、訪れた人々が楽しい使い方を発明します。



WSについて

WSは「制作のWS」と「エネルギーについて学ぶWS」の二つを行いたいと考えています。
○製作のWS: 実際の組み立てを行うWSです。大まかな材料は事前に用意し組み立てと色塗りを行います。
○エネルギーについて学ぶWS: 小学生を対象に太陽光パネルの発電に、スマホの充電・ドライヤー・扇風機・LED電球電球・白熱電球をつなぎ、それらの消費電力を学ぶと同時に太陽光の力を知ってもらうWSです。一人の大人がテレワークを行うとき、どれだけエネルギーを使うのか検証します。



太陽光と電気

太陽光パネルをのせた、4つの屋台は、影を作ると同時に発電をします。スピーカーを繋いだり、映像を流したり、イベントの可能性を広げると同時に、災害時の発電スポットにもなるのです。



